

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所6号機における  
可燃性ガス濃度制御系の不具合について

平成22年9月14日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

<概要>

(事象の発生状況)

- ・ 定期検査で停止中の6号機において、平成22年9月10日より原子炉格納容器内の可燃性ガス濃度を制限値以下にする設備の漏えい確認試験を実施したところ、試験圧力を維持することができないことを確認しました。

(今後の対応)

- ・ 漏えい箇所の特定をするとともに原因について詳細に調査いたします。

(安全性、外部への影響)

- ・ 本事象による外部への放射能の影響はありません。
- ・ 現在、プラントは停止しており、当該系統の機能が必要な状態ではありません。

(公表区分)

- ・ 本事象は公表区分Ⅱ（運転・保守管理上、重要な事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

定期検査で停止中の6号機において、平成22年9月10日より二系統ある可燃性ガス濃度制御系\*のうちの一系統のガス側系統漏えい確認試験を実施したところ、試験圧力を維持することができないことを確認しました。

その後、漏えい箇所の確認を行っておりますが、当該設備は安全上重要な機器であること、および原因の特定までに時間を要することから、安全上重要な機器の機能に支障を及ぼすおそれのあるものと、本日判断しました。

2. 今後の対応

今後、漏えい箇所の特定をするとともに原因について詳細に調査します。

3. 安全性、外部への影響

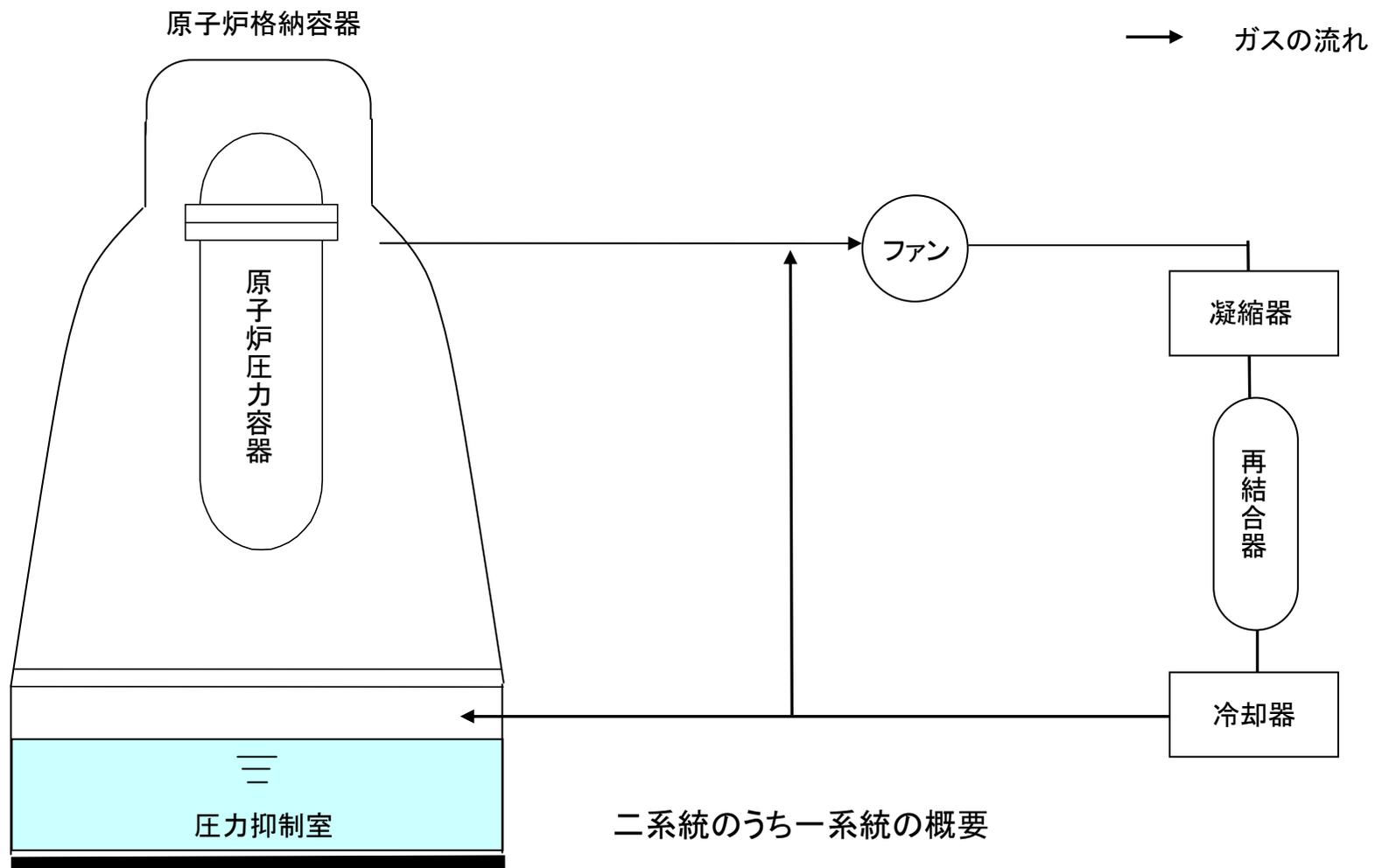
本事象による外部への放射能の影響はありません。

現在、プラントは停止しており、当該系統の機能が必要な状態ではありません。

以上

\* **可燃性ガス濃度制御系**

原子炉冷却材喪失事故時に発生する可燃性ガス（水素、酸素）が、原子炉格納容器内にたまり、水素と酸素が反応して燃焼を起こす事故を防ぐため、水素、酸素ガス濃度を制限値以下になるよう水に高温下で再結合させる装置。



可燃性ガス濃度制御系 系統概略図